

令和4年度 第1回磐田市多文化共生社会推進協議会 摘録

日 時	令和4年7月26日（火）午後7時00分～9時00分
場 所	磐田市役所本庁舎4階 大会議室
出席委員	佐伯 康考会長、藤田 允委員、川原 利彦委員、渡邊 カルロス委員、松下 晴彦委員、相川 アンジェラ委員、伊藤 雅之委員、鈴木 秀幸委員、江間 啓之委員、鈴木 公恵委員、田中 琢間委員
事務局	地域づくり応援課長、課長補佐、職員3人
オブザーバー	学校教育課（加藤） 多文化交流センター2名（杉田・山田）

[会議内容]

- 1 開会・委嘱状交付
- 2 会長あいさつ
- 3 報告事項
 - (1) 令和4年度 磐田市多文化共生社会推進協議会について(資料1)(資料2)(資料3)
 - ・今年度の協議会の目的・進め方、協議会の日程、プランの概要の説明。
 - (2) 磐田市日本語教室の実施状況について(資料4-1)(資料4-2)(資料4-3)
 - ・現状の統計資料の内容説明。
 - (3) 第3次多文化共生推進プランの結果について(資料5)
 - ・各課又は団体で実施した取り組み施策の結果報告。
 - (4) 第4次多文化共生推進プランの計画について(資料6)
 - ・各課又は団体で実施する取り組み施策の計画説明。
- 4 協議事項
 - (1) 意見交換（第4次多文化共生推進プランの計画について）
- 5 閉会

[会議概要摘録]

- 1 現状及び課題の整理
 - (1) 外国人市民の高齢化
 - ・外国人の高齢化問題が顕在化してきている。
 - 対策の検討と、情報共有をしていく。
 - (2) 日本語教育支援者不足
 - ・磐田市事業として、日本語教室が開講されたが、教室運営には支援者数の確保が課題である。
 - (3) やさしい日本語
 - ・地域、企業、学校、行政に周知する必要がある。

2 主な意見

(1) ①年金について

- ・年金未加入の外国人が多い。加入促進や、老後の経済面について情報を提供していく必要がある。国保年金課・年金事務所・領事館など関係機関と対策を講じていく。

②保険について

- ・保険未加入の外国人も多い。保険未加入によって、緊急時に医療機関の受診に関わる問題が起こり得る。年金問題と同じく、関係機関と協議していく。

(2) 支援者の養成について

- ・今後も養成講座のPRを継続する。
- ・受講者側に、支援者になっていくような体制づくりを行う。

(3) やさしい日本語の周知について

- ・外国人だけでなく、日本人にも周知をしていく。
- ・地域や企業へ積極的な情報共有を行う。

外国人情報窓口の機能拡充について

令和元年 10 月から続く株式会社 OR J との契約期間が、令和 4 年 9 月 30 日で満期となるため、プロポーザルによる業者選定を行いました。

その結果、本年 10 月 1 日より グローバルデザイン株式会社 へ委託先が変更となり、次のとおり機能を拡充しました。

1 通訳機能の拡充（3 者間通訳機の導入）

サービス名：テレビ de 通訳&電話 de 通訳

対応言語：①ポルトガル語、②英語、③フィリピン語、④ベトナム語、⑤タイ語、⑥中国語
⑦スペイン語、⑧韓国語、⑨ネパール語、⑩インドネシア語、⑪ヒンディー語
⑫フランス語、⑬ロシア語、⑭ミャンマー語

以上、14 言語に対応

対応時間：磐田市で主要な言語の多くは 365 日、24 時間対応

言語によって終了時間が 0 時、20 時等あるが、緊急時以外問題無く利用可能

機能概要：外国人の来庁者が希望する言語を選択すると、通訳者と電話が繋がり、お客様と職員でタブレット内の通訳者を介して会話が可能。データ通信のため、持ち運びが可能であり、汎用性が高い。

2 SNS の言語拡充

現在、運用している Facebook の対応言語について、以下のとおり言語拡充します。

旧契約	新契約
①ポルトガル語 ②タガログ語（試験導入）	①ポルトガル語 ②タガログ語（New） ③ベトナム語（New） ④やさしい日本語（New）

3 動画作成の機能拡充

動画作成について、以下のとおり機能拡充します。

旧契約		新契約
対応言語	ポルトガル語	①ポルトガル語 ②タガログ語 ③ベトナム語 ④やさしい日本語
発信媒体	Facebook	①各言語の Facebook ②磐田市公式 YouTube
技術面	直接撮影	①直接撮影 ②インフォグラフィックス（イラスト）による動画制作

※窓口スタッフは、契約業者様・窓口スタッフと協議のうえ、継続雇用となりました。

磐田市日本語教室について(前期)

今年度より開始した、磐田市日本語教室事業の前期（5月～10月）が終了したので、その結果及び取り組みについて、以下のとおり報告します。

1 実績について（受講者数・修了証発行者数など）

(1) 前期参加人数について

	今年度	R3年度	増減
1回以上参加した人数	141人	153人	▲12人
うち、4回以上参加した人数	72人	39人	+33人
継続受講率（4回以上参加者）	51%	25.4%	+25.6%

教室終了後アンケート（回答者44人）で、学習を継続できた理由について、次の回答を得た。

①日本語を沢山話せるから（77%）、②教室の人たちと仲良くなれたから（48%）

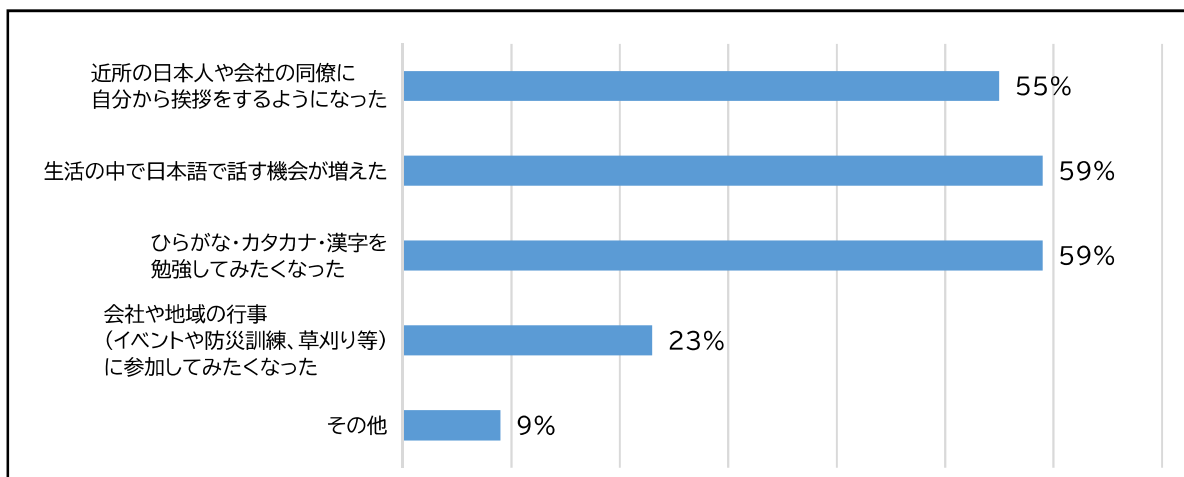
(2) 修了証発行者32名（うち受講前に判定出来なかった方2名）

	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
受講前	3人	10人	12人	4人	1人
受講後	3人	11人	15人	3人	0人

レベルの変化について・・・上昇11名、変化無し12名

※受講前のレベル評価は、「Can-do statements」という方法で実施しており、受講者の自己評価によりレベルを判定している。

(3) 普段の生活や意識の変化（受講者アンケート結果）※複数回答有



「自分から挨拶をするようになった」、「日本語を話す機会が増えた」方がどちらも過半数を超えている。「日本語を話す機会が増えた」方の中では、職場の人や友人とよく話すようになったという回答が多かった。「その他」では、仕事でのコミュニケーションが円滑になった、もっとコミュニケーションを取りたい、もっと勉強したい、という意見があった。

2 振り返り（課題と改善案）

課題	改善案
ボランティアに、地域の方の参加を増やす	後期教室で、ボランティア体験会を実施
レベル判定の検証と改善	前期の結果をもとに修正を加える
文法や文字の学習希望への対応	後期受講者の意見も聞きながら、引き続きニーズ把握に努める

3 人材育成実施状況について

(1) 日本語ボランティア養成講座（全8回）

- ・外国人との会話に興味がある方を対象に、定員20人で募集した。
20人から申込があった。受講後、14人の方が支援者としてスタッフ登録してくれた。
- ・うち2回を市民公開講座として開催
定員100人に対し、参加者60人（受講者16人、単発受講44人申込み）

(2) 日本語支援者スキルアップ研修（全4回）

- ・日本語教室の支援者、もしくはこれから支援を始めようとしている方を対象に、定員20人で各回募集中（単発受講可）受講料:無料
実施日：①10月29日（土）、②11月26日（土）、③2月4日（土）、④2月18日（土）

(3) にほんごボランティア体験会（全3回）

- ・日本語教室活動に興味がある方を対象に、定員5人で各回募集中（単発受講可）費用：無料
実施日：①11月19日（土）ららぽーと磐田、②11月20日（日）ワークピア磐田
③11月27日（日）西貝交流センター、④11月27日（日）竜洋交流センター
- ・交流センター講座情報冊子「学びの庭10月号」や、「交流センターだより11月号」へ掲載し広く募集する。

4 後期教室について

募集期間：10月3日（月）～10月24日（月）

募集状況：10月25日時点で148人（締切）

実施期間：11月5日（土）～3月26日（日）

変更点：① モデル企業

上半期、市職員の企業訪問時に個別に照会し、必要に応じて後期募集チラシを配布した。後期はモデル企業として声掛けせず、どの企業から参加するかを把握する。

② 支援者増加の見込み

ボランティア養成講座修了者、ボランティア体験会参加者、静岡文化芸術大学の学生などの参加により、支援者が増加する見込み。

5 日本語教室PR動画作成について

モデル企業「株式会社松下工業」にご協力いただき、企業向けの「日本語教室PR動画」が完成しました。

以後、外国人市民向けの動画としてショート版をFacebookへ投稿するとともに、市外、県外、国外に向けたシティプロモーション動画として、本市の多文化共生施策を組み込んだ動画の作成を予定しています。

動画を発信する際には、シェア等により拡散のご協力をお願いします。

6 「がんばる企業応援団」における調査結果

市職員が市内企業を定期的に訪問することで、企業と行政の信頼関係を築くとともに、地域経済の動向や企業ニーズ等を把握し、市施策へ反映させることを目的に実施しています。

この度、外国人雇用の実態を聞き取りしました。

6月～8月に行った、今年度1回目の訪問結果の報告

《取組》

1 外国人従業員数（115社回答）

令和4年4月1日時点 1,111人（雇用形態は問わず）

2 国籍内訳

ブラジル	フィリピン	ベトナム	インドネシア	中国	ペルー	タイ
562人	174人	175人	53人	32人	25人	1人

その他 13人

3 外国人従業員が日本語を習得するための取組について（81社回答）

自社で日本語教室を実施	日本語学習教材の取得補助	特にしていない	その他
3社(3.7%)	3社(3.7%)	60社(74.1%)	15社(18.5%)

4 磐田市の日本語教室利用希望について（79社回答）

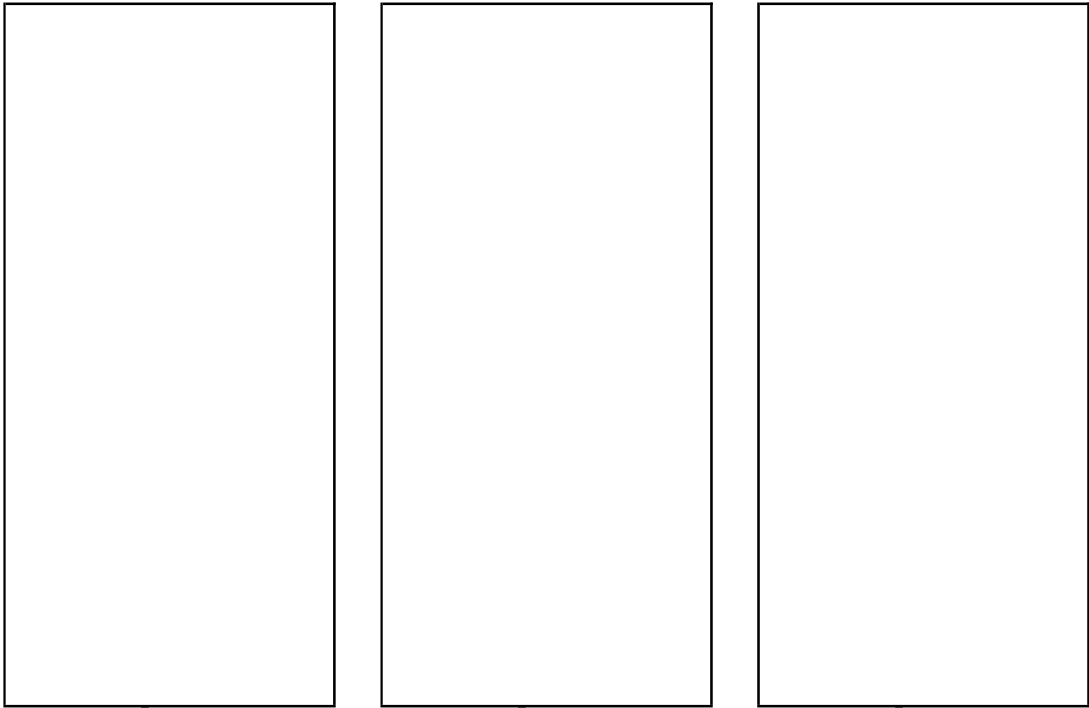
希望する	希望しない
11社(14.0%)	68社(86.0%)

5 外国人従業員の雇用状況について

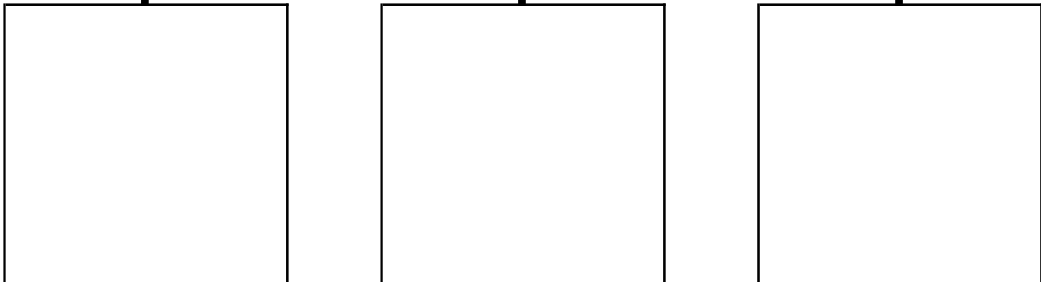
芝原工業株式会社	会社独自で日本語の勉強会を実施している。 (20年近く)
株式会社アドバンス	次回開催の日本語教室について募集チラシの送付希望
リュウテック株式会社	難しい内容は、「ポケットーク」という翻訳機を使用し意思疎通を図っている。
天龍産業株式会社	日本語教室の案内チラシができればいただきたい。掲示板に掲載する。

資料 4

出来る事



現状



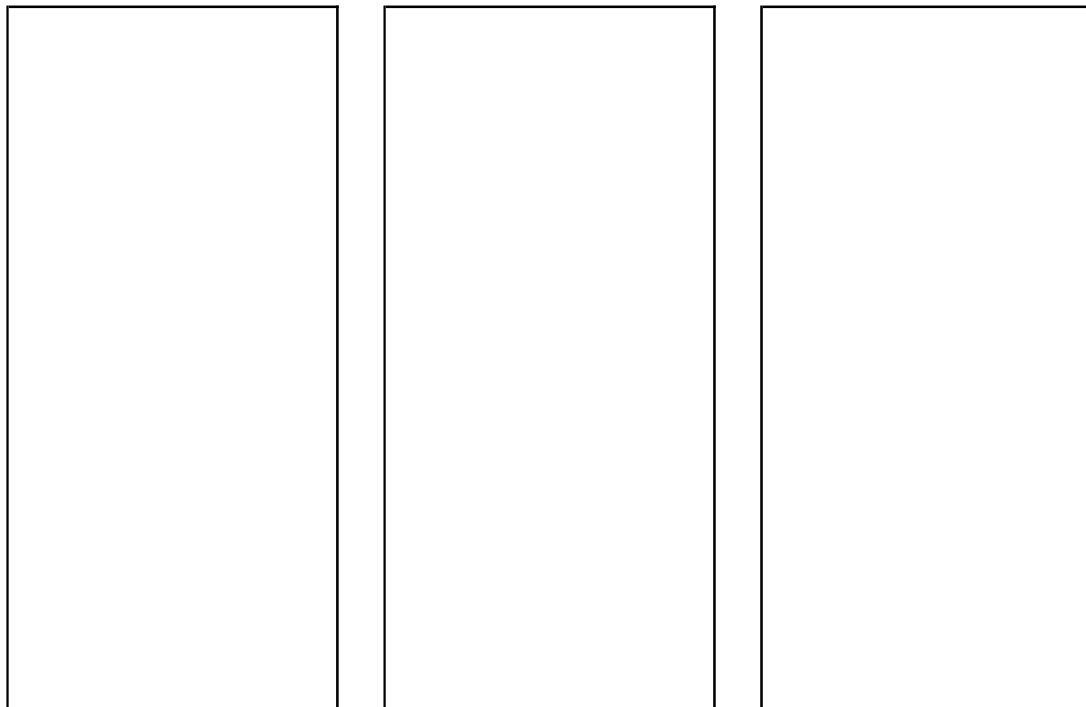
ターゲット



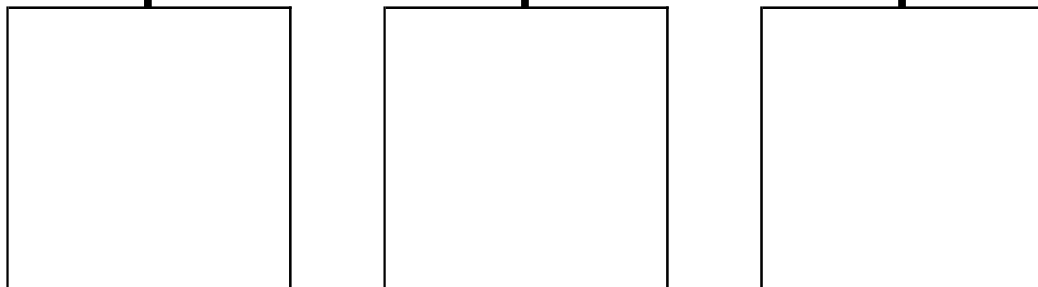
課題

ボランティアを増やすには？

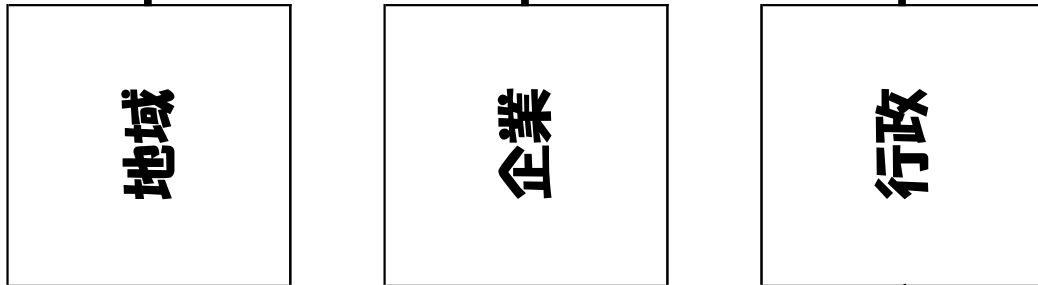
出来る事



現状



ターゲット



課題

やわしい日本語の普及のためには？